

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会
460-0006 名古屋市中区葵 1-27-32 カイフビル 7階

HD ニュース

No.24
2014.12.15

今後の予定／於：事務局会議室

- 12月16日(火)18:00～ 相談委員会
- 12月16日(火)19:00～ 研修会(終了後忘年会)
- 12月18日(木)18:30～ 木造技術研究会
- 1月8日(木)18:00～ 三役会
- 1月15日(木)18:30～ 木造技術研究会
- 1月20日(火)19:00～ マンション大規模修繕研究会

一年間のご協力・ご尽力に御礼申し上げます

理事長 滝井幹夫

残すところあと僅かで本年が終わろうとしています。本会の活動にご協力・ご尽力頂いた正会員・賛助会員、そして周囲から支えて頂いた全ての皆様に改めて感謝を申し上げます。

この一年、電話相談と現地調査など直接消費者と触れ合う活動件数は余り多くありませんでしたが、住まいのホームドクター会員として資質の向上を目指して、研究会・研修会・見学旅行の開催など、地道に継続して参りました。

また、本会の運営基盤の改善・強化のための取り組みとして「愛知建築士会助成事業」などのプロポーザル応募事業への参画も始めています。これらを来年以降に少しずつでも実らせたいと思います。

一方で、本年は豪雨、台風、火山噴火、地震と、災害がたて続けに日本列島を襲い、被害を発生させましたが、中には人災の側面もあったとも言われています。

私たちにとって、安全・安心・快適・美しいなどの街づくり＝都市計画的観点も、個々の家づくりと並んで重要な職能とされています。

そんな視点も改めて確認したいものです。

長野北部地震 2014年11月27日(日経アーキテクチャより)



賛助会員紹介

研修委員長 津島勝弥

池田建築株式会社 代表取締役 池田雅幸

〒486-0801 愛知県春日井市上田楽町2854-8

TEL 0568-81-1478

FAX 0568-83-0548

池田建築さんとの出会いは、私が大曾根の設計事務所スタッフとして務めていた時で、もう25年以上前になります。その事務所は、個人住宅の設計の仕事も多く、何件かは、池田建築に工事をお願いしており、現場では現社長の池田さんが監督として采配を振るわれていました。

平成4年、私は事務所を退社後、友人2人から住宅(鉄骨造3階)と仕事場(鉄骨造2階)の設計を依頼されました。その折の施工会社選定は、住宅については、本人の知り合いの工務店を指定があり、

もう一件の仕事場については、真っ先に浮かんだのが池田さんの顔でした。それからの縁で、何件かの施工を請けていただいています。

池田社長は物腰が柔らかく、誠実な人柄が施主にもとても好かれます。ひとに対する態度だけでなく仕事の丁寧さも信頼される理由のひとつです。だからそこで働く大工さんも丁寧な仕事をしてくれます。

また、池田社長には、工事の予算と見積額に大きな開きが出てなかなか納まらない時に、設計意図を読み取った上で、減額のアイディアを提案してもら

ことがあります。なかなか設計者では思いつかない『請負契約まであと“ひとひねり”』の際の、抽斗の多さに驚かされます。

池田建築さんや他の賛助会員にも色々協力いただ

いていますが、正会員・賛助会員であることがメリットとなるように見積もりの依頼などを行い、お互いに協力していける「住まいのホームドクター／設計者の会」になればと、考えています。

第3回 HD 研修旅行記 3・三重大学レーモンドホール

内藤恵子

三重大学の門をはいり、バスを降りた私達は、「どこだろう？」とそれらしい雰囲気を探し、雨の中落葉を踏みながら暫く歩いて行きました。

そして目の前に現れた鉄板葺き屋根の平屋は、ひっそりと佇むように建っていて、何となく温もりが伝わってくるようなレーモンドらしい親しみを感じるものでした。しかし、7間程の極めて広く開放された建物のロケーションが何となく物足りなさを感じずにはいられませんでした。

パネルを読んでいくとそれは、国立三重大学との統合と同時に現在の地に移築されたもので、かつては池のほとりに建っていたということがわかりました。歴史を辿ると、県立三重大学が建設された翌年の1951年、附属図書館として現在三重県立美術館がある場所に建設されましたが、1969年解体移築が行われ、間仕切りを変更し水産学部関係者の食堂として利用されてきました。その後の改組・新校舎への移転等を経てその役割を終え、三重大学ではレーモンドホールと改称し、その歴史に関わる記念的建像物として保存活用することになり2002年「造形の規範になっているもの」に該当するとして、国登録有形文化財に登録されたそうです。

名古屋にもレーモンド（レーモンド事務所）が設計した建物がいくつかありますが、三重大学とレーモンドとの関係は？と思いながらパネルを読んでい

ると、当時、図書館整備を主導した妹尾左知丸教授とレーモンド事務所所員の岡本剛氏が高校時代の友人だった事が書いてありました。

今回の旅行の初めに訪ねたレーモンドホールは、帝国ホテルの設計でライトと一緒に日本を訪れ、そのまま日本に残り事務所を開いてしまったレーモンドが、いかに日本が好きだったかをしのぶ事ができる、日本らしい建物でした。できれば、移築前の場所に建っている処を訪れたかったという気持ちを残し帰ってきました。特に規模の小さな建物にとって、そのロケーションは切り離す事ができない条件でもあり、一体として考えなければ成立しないのではないかと改めて強く感じた次第です。



委員会・研究会等報告

■マンション大規模修繕研究会 11/18 18:00~19:00
某大規模修繕コンサルタント業務見積り提出。藤井委員長の任期終了による委員長交代について。

■技術研修会 11/18 19:00~21:00

「呼吸する現場発泡断熱材」

講師：キングラン中部(株)安藤秀治氏

■木造技術研究会 11/20 18:30~20:30

研修旅行（11/9~10、22名参加）報告。「フラット35対応 木造住宅工事仕様書」読み合わせ。

■情報委員会 11/28 14:00~15:00

ホームページの改訂について

■役員会 12/4 19:00~20:00

会員現況と収支状況報告、各委員会活動の現状と今後、正・賛助会員の加入促進について。